

2023年6月23日

サイクルツーリズムによるタイからの福岡への誘客の可能性

バンコク事務所所長 西田 光孝

1. タイのサイクリングに関する現状

ひと昔前のタイ人の感覚では、自転車は疲れるもの、不快なものというイメージだった。一方で、2009年頃から若者や海外居住経験者の間でサイクリングがブームとなり、次第に富裕層を中心に浸透した。その後、2015年にシリキット王太后の誕生日を記念した「Bike For Mom」という約15万人が参加したライドイベントが開催されるなど、タイ人に定着したアクティビティとなっていた。¹タイの自転車ショップへの聞き取りによると、「コロナ禍を経て、2015年のブームは落ち着いたものの、都内で自転車を楽しむタイ人は今も多い」という。



<写真1>早朝のHHBLの様子

バンコク都心部で公道を走るとは、路面状況や交通マナーの悪さのため、安全とは言い難い。そのため、彼らの多くは都心部から車で40分ほどの距離にあるハッピーアンドヘルシーバイクレーン（HHBL）を訪れている。この施設はスワンナプーム国際空港の敷地を利用した1周約24kmの自転車専用レーンで、快適で安全なサイクリングを楽しむことができ、家族連れも多い。大規模な駐車場があるため、土日には朝から多くの来場者で賑わっている。また、2022年に再オープンしたバンコク都心部のベンチャキティ森林公園では、平日の朝からサイクリングを楽しむ人々の姿を目にする。しかしながら、このように整備された施設や公園以外の、山中でのヒルクライムや街中、自然の中でサイクリングを行う場合は、バンコク郊外やカオヤイ、チェンマイ、チェンライなどへ長時間かけて行く必要があるため、日本ほど気軽に楽しむことが難しい。

2. タイ人の日本のサイクルツーリズムへの関心

タイ人の日本でのサイクリングに関する動向はどうだろうか。スポーツ庁が

¹ ジェトロ調査レポート ヘルシーライフスタイル バンコク編
(<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2018/02/29fa266c97bc4316.html>)

実施した調査によると²、タイ人が日本で経験してみたいスポーツツーリズムとして、1位のスノースポーツに次いで、第2位にサイクリングがランクインしており、日本でのサイクルツーリズムに対する関心は高い。

タイのサイクリストも参加した九州サイクリングツアー調査を行った株式会社 Bike is Life 代表取締役の山田氏によると「道路状況が良いことに加え、自転車専用レーンや路面標示などが整備されていて安全で走りやすい」、「バンコクは平地の割合が多いので、アップダウンのある山や海などの自然が近いことが魅力的。景色が変わって楽しい」、「道中に買物や食事、観光スポットを入れたほうがよい」、「宿泊施設に自転車の組立やメンテナンスが可能なスペースが欲しい」などの意見が出たという。

また、福岡の旅行商品を取り扱うタイの旅行会社 Quality Express 社にサイクルツーリズムを通じた誘客についてヒアリングしたところ、目的地やルートにストーリー性や必然性を持たせることや LINE や TikTok など動画を使った情報発信が効果的であるというアドバイスをいただいた。

3. 誘客の可能性、取組について

直近のタイから福岡への入国者数は、2.5 万人（2022 年）とコロナ前 2019 年の約 4 割まで回復してきている。さらに 2023 年は、1、2 月だけで約 1.6 万人と 2019 年同時期の約 4 倍となっている³。また、福岡や九州をガイドと一緒に自転車で旅をする旅行商品である「ディスカバー九州」の販売が開始された。加えて、自転車を分解せずに乗せることができるサイクルトレイン・サイクルバスのような取組が開始されている。これらは旅の回遊性を高めるほか救済移動手段にもなることから、国内外のサイクリストを受け入れる気運は高まってきている。



<写真2>HHBL での PR の様子

当事務所としてはこの機会を捉え、SNS による情報発信や旅行会社への PR はもちろんのこと、6 月にはサイクリストが多く集まる HHBL でのブース出展・PR をタイの旅行会社と連携して行うなど、ダイレクトにタイのサイクリストに届く情報発信を通じて、一人でも多く福岡へ訪れてもらえるような取組を行っていく。

² スポーツ庁「スポーツツーリズムに関する海外マーケティング調査報告書」

(https://www.mext.go.jp/sports/content/20200330-spt_stiiki-000005408-12.pdf)

³ 法務省 出入国管理統計 (https://www.moj.go.jp/isa/policies/statistics/toukei_ichiran_nyukan.html)